

若社会囃子連

代表者	荻島林七
所在地	〒192-0005 東京都八王子市宮下町489
設立年月日	平成17(2005)年5月7日
URL	http://www.abcdefg.org.jp/

【設立趣旨】

昭和51年5月現会長荻島林七氏が西多摩郡日出町平井香美町囃子振興会より、習得した技芸を昭和60年4月心と情熱を持って立ち上げました。

【沿革】

若社会囃子連が継承している重松流祭囃子は、古谷重松が編み出した祭囃子です。古谷重松は天保元年(1830年)埼玉県所沢上の宿に生まれ、後に古谷源衛門の養子となり養家は、味噌麴の製造と染料、繭玉の商いを手広く行っていました。

重松は大国魂神社の流れを汲む笛の名人と云われ、家業の染料と繭玉や榊の灰汁の集積で所沢の自宅から入間や西多摩郡秋川流域に行商に出かけ、各地で宿を取り地元の若者達に指導し直伝されたものです。

重松囃子は決まった譜を持たずすべて口伝で、基本の太鼓はありますが相手のたたき方を見抜いて自分で工夫し、即興的自由に演奏していくことが特徴です。これを「チラシ」と言い近代的手法が受けています。

曲目は、宮昇殿、四方殿、鎌倉、師調目、にんば、三番叟、ねんねこ、屋台囃子で威勢の良い祭り囃子です。

【活動目的】

伝統芸能の良さと、灯りを消すこと無くを重点に会員も各地域から参加しており、社会教育の立場からも青少年へのアピールと後継者の育成に精進し積極的に参加したいと思えます。

【活動内容】

同時に共鳴する方々が多勢参加し、伝統を守りながら一部近代的に創作した出し物も織り交ぜ、独特な演出で各方面に披露する場を頂いています。

【平成22年度出演予定】

1月元旦	稲荷神社初太鼓	
	8~15日	地元各種団体賀詩交歓会
3月	春祭り	
4月	桜祭り	出演予定
6月	老人ホーム	慰問
7月	盆踊り大会	
8月	八王子祭	
9月	神社祭礼	
10月	商工観光祭	
11月	郷土芸能祭	その他



若社会 写真1



若社会 写真2



若社会 写真3